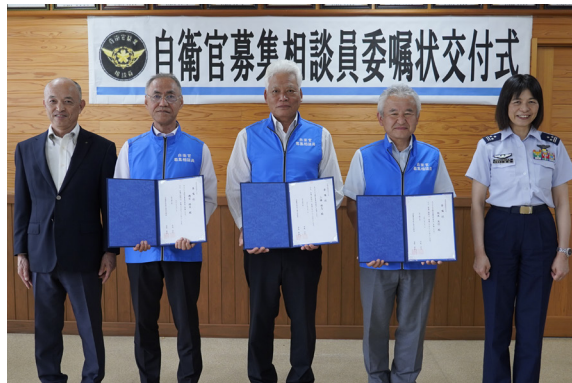


自衛隊と地域を結ぶ 自衛官募集相談員へ委嘱状交付

5月27日、自衛官募集相談員の委嘱状交付式が、町長室で行われました。

地方自治法と自衛隊法に規定する相談員は、自衛官の募集や志願者への情報提供などさまざまな活動を担っており、委嘱状が手渡されました。

自衛隊宮崎地方協力本部香里部長は「自衛隊にしかできないこともあるため、ぜひ多くの方の申し込みを期待します」と話しました。



高千穂の新たなランドマークに 三田井中心部に壁画アートが出現

三田井中心部に巨大な壁画が完成しました。作成したのは、20代の頃から絵画の活動を行っている画家の原口正治さん。

1ヶ月間かけて制作した壁画は、幅10m×高さ5mの大作で、高千穂峡や、夜神楽、棚田、などの高千穂の風景や神話をモチーフとした内容となっています。4月に移住をし活動している原口さんは、「気軽に立ち寄れる高千穂町の新しいランドマーク的なものになって欲しい」と述べていました。



いかのおすし 小学校へ防犯グッズ贈呈

高千穂地区防犯協会の藤本昭人会長（高千穂町副町長）が、高千穂小学校1年生（27名）代表の甲斐千景さんと興杵笑琉さんに、不審者から守るための防犯標語「いかのおすし」が書かれた文具セットやクリアファイル、ばんそうこうなどの防犯グッズを贈呈しました。同協会では、毎年、子どもたちに防犯意識を高めてもらおうと、郡内の小学校1年生に配布を行っており、今年度は84人分を贈りました。



将来の関係人口創出を目指して 徳別当の棚田で田植えイベント開催

5月30日、山附徳別当地区にて、田植えイベント（徳別当棚田受託組合主催）が行われました。山附地区に所縁のある家族に参加してもらったことで、集落機能の維持や棚田景観の維持に繋がることを願い令和4年から開催されています。今年は町内外から10家族19人が参加し、高温障害に強いとされる新品種の「ひなた舞」を植付。参加者は泥に足を取られながらも、楽しそうに苗を植えていました。



日本のひなた宮崎国スポ剣道競技リハール大会 第76回西日本各県対抗剣道大会開催



6月14日、第76回西日本各県対抗剣道大会が、町武道館にて開催されました。

来年間催される「日本のひなた宮崎国スポ剣道競技リハール大会」としての意味合いを持つ大会で、九州各県から年代別に各10人が団体戦総当たりで競技を行い、高い技術と白熱した試合を繰り広げました。

宮崎県チームは予選リーグを全勝で勝ち上がり健闘しましたが、決勝戦では福岡県チームが優勝。惜しくも準優勝という結果でしたが、高千穂高校剣道部出身の選手による活躍も見られ、来年の国スポ剣道大会本番での活躍が期待されます。

